

# コンクリートの 乾燥収縮（長さ変化）試験

土木学会のコンクリート標準示方書、日本建築学会のJASS5(鉄筋コンクリート工事)の改正に伴い、乾燥収縮率の基準値が規定されました。これにより、構造物に使用するコンクリートの乾燥収縮率が適正な値であることを確認することが求められています。

東海技術センターでは、ご依頼者が作製されたコンクリート供試体を6ヶ月間、恒温恒湿室にて保管し、コンクリートの長さ変化を測定し、乾燥収縮率を算出します。

## ● 試験方法: JIS A 1129-3 モルタル及びコンクリートの長さ変化試験方法—ダイヤルゲージ方法

☆型枠をお貸しするところからスタートします！



↑恒温恒湿室  
—長さ変化計測の様子



### 試験手順

ご依頼者へ  
型枠を貸出※

ご依頼者が  
試験供試体を作製

当センターへ搬入

初期養生(7日間)

初期長さ測定(7日目)

6ヶ月間(26週)保管※※

長さ変化測定

乾燥収縮率算出

※ 10cm×10cm×40cm 角柱、3セット  
※※ 恒温恒湿室(室温20℃湿度60%)にて保管し、1週、2週、4週、8週、13週の長さ変化を測定します。

\*試験供試体は、作製後、初期長さ測定の前日までに東海技術センター三河試験所に搬入をお願いします。

\*試験のご依頼の際は、試験条件等の確認をさせていただきたいので、事前にお問合せをお願いします。



東海技術センター 名古屋本所

◎TTC 財団法人 東海技術センター 三河試験所

〒440-0081 愛知県豊橋市大村町字橋元68番地1

Tel 0532-57-7797 Fax 0532-57-7798

E-mail: kunihisa\_shibata@zttc.or.jp

http://www.ttc-web.com

(担当: 品質試験課 坪井・上村)